

新規事業候補箇所の選定の考え方

国土交通省 東北地方整備局
北陸地方整備局

平成31年3月8日

新規事業候補箇所の選定の考え方【一般国道（拡幅・バイパス）】

【対策未実施区間（「新規事業候補区間」）の抽出】

1. 東北の直轄国道全線（約2,900km） **【1,493区間】**
○平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査区間毎に分割

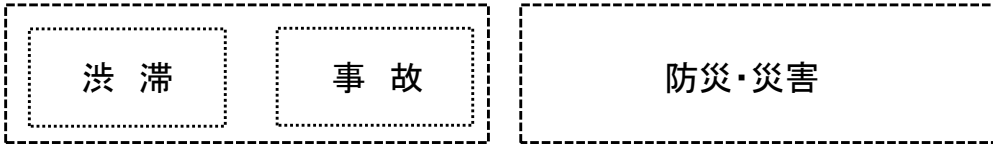
2. 改築事業等実施中^{※1}以外の区間 **【863区間】**

^{※1} 改築事業の実施中または改良済区間及び直轄自専道区間、それらに並行する現道区間

3. 課題区間の抽出（以下の①～③のいずれかに該当） **【575区間】**

- ①交通課題 渋滞：主要渋滞箇所^{※2}を有する区間（202区間）
事故：事故危険箇所^{※3}を有する区間（331区間）
- ②道路構造：急勾配、急カーブ、狭小幅員箇所の有無（227区間）
- ③防災・災害：事前通行規制・災害発生・津波浸水区間（151区間）

4. 課題の大きい区間の抽出 **【254区間】**



5. 事業実施環境等の確認等

○上記区間の中から、計画確定済み（都市計画等）、環境影響評価実施済み等、事業実施環境が整った区間を選定

【2区間】

H31年度新規事業候補箇所に選定 一般国道113号 小国道路

- ・主要渋滞箇所:1箇所
- ・事故危険区間:1箇所
- ・縦断勾配:5.2% 曲線半径:60m
- ・死傷事故率:242件/億台キロ
- ・地域主産業:製造業

【課題区間の抽出の視点】

課題	指標		判定	
①交通課題	渋滞	主要渋滞箇所 ^{※2} を有する区間	主要渋滞箇所 ^{※2} に該当	地域の委員会等で特定された箇所（H25.1公表）
	事故	事故危険箇所 ^{※3} を有する区間	事故危険箇所 ^{※3} に該当	地域の委員会等で特定された箇所
②道路構造	急勾配箇所 急カーブ箇所 狭小幅員箇所	道路構造令の規定値を満たさない箇所	I=5%超 R=150m未満 W=8.0m未満	道路構造令の規定
③防災・災害	事前通行規制区間 災害発生区間 津波浸水区間	異常気象時で事前に行が規制される区間 過去5年間に災害が発生し、全面通行止め又は片側交互通行止めを実施した区間 津波浸水区域を有する区間	規制区間に該当 発生区間に該当	—

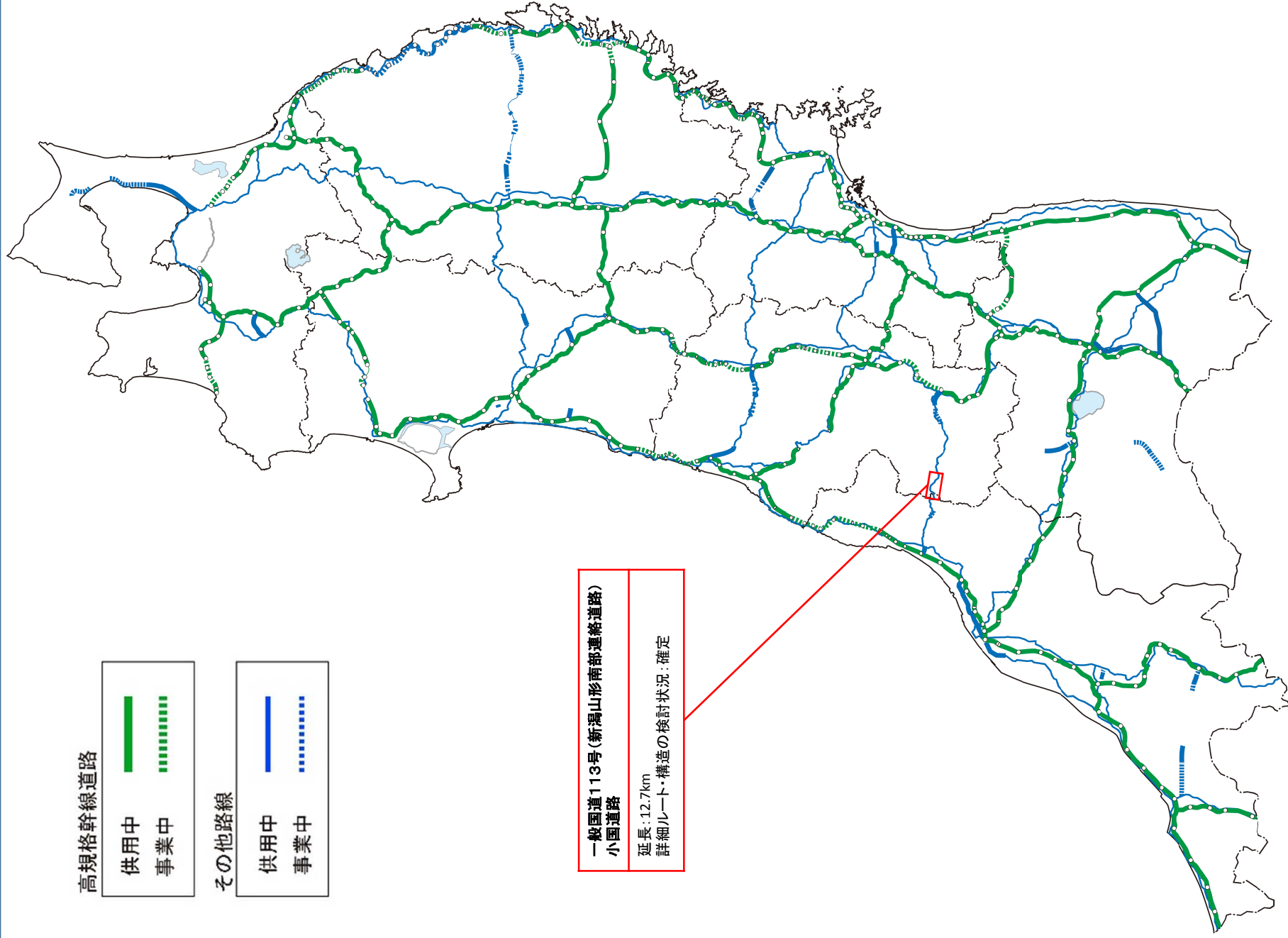
^{※2} 主要渋滞箇所：速度データ（プローブデータ）等や道路利用者等の意見を踏まえて、各県渋滞対策協議会で選定した箇所

^{※3} 事故危険箇所：事故データや地域の声を踏まえて、各県道路交通環境安全推進連絡会議等で選定した箇所（区間）

【課題の大きい区間の抽出の視点】

課題	指標	判定
渋滞	①混雑度が高い区間	混雑度が1.25以上
事故	②死傷事故率が高い区間 ③死亡事故が発生している区間	死傷事故率が100件/億台キロ以上 死亡事故あり
防災・災害	④全面通行止めした区間	全面通行止めあり

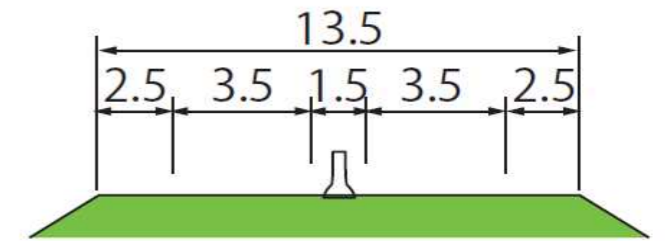
平成31年度 新規事業候補箇所



整備局名	都道府県名	事業名	事業延長	車線数	計画交通量	全体事業費	B/C	備考
東北	山形県	一般国道113号 <small>にいがたやまがた</small> (新潟山形南部連絡道路) <small>おぐにどうろ</small> 小国道路	12.7km	2/2	5,300台/日	350億円	1.1	

■事業の経緯

- 平成27年 3月 計画段階評価着手 (第1回)
- 平成30年 10月 計画段階評価完了 (第3回)
- 平成31年 3月 東北・北陸地方小委員会 (新規事業採択時評価)



▲計画横断図(m)

